



2014年9月25日

株式会社 明電舎

## シンガポール LTA 新線向け鉄道用電力設備を受注

株式会社明電舎（取締役社長 浜崎祐司/以下、明電舎）の現地法人 Meiden Singapore Pte. Ltd.（以下、明電シンガポール）は、シンガポールの Land Transport Authority（陸上交通庁/以下、LTA）から新規建設路線である地下鉄トムソン線向け鉄道用電力設備（Contract T253）を受注しました。

本契約の受注金額は約 100 億円で、明電シンガポールが車両基地及び 22 駅の鉄道用電力設備一式を受注し、機器の設計、供給及び現地据付・試験工事を担当します。2020 年に完成予定です。

本プロジェクトはシンガポール北部と市中心部を結ぶ全線地下 30km の路線で、将来は東地区線に延伸となる計画です。

これまで明電グループは、LTA 向けに 80 年代の地下鉄開業当初から多くの鉄道用電力設備を納入してきました。直近でも南北線の延伸駅向け電力設備を納入しております。今回の受注は、当社グループの今までの豊富な実績、蓄積した技術力、価格が総合的に評価されたものです。

今後も、明電グループは、国内・海外における電鉄用製品の競争力強化を図り、コア事業のひとつである電鉄事業の拡大に注力してまいります。

以上

<本資料に関する問い合わせ先>

株式会社 明電舎 広報・IR部 広報・IR課

電話：03-6420-8100